

研究課題名	食道 ESD 後狭窄高リスク症例に対するステロイド局注、ポリグリコール酸シート併用狭窄予防の効果
研究の意義・目的	表在型食道がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）で広範囲に切除をすると食道が狭くなる（狭窄）ことが知られています。ステロイドなどの狭窄を予防する治療が報告されていますが、予防的治療が無効な場合もあり、課題とされています。ステロイドを使用しても、より狭窄を起こしやすいとされる 5/6 周以上に切除した患者さんを対象とし、ステロイドの局所注射とポリグリコール酸シートの併用による狭窄予防治療の有用性について明らかにします。
研究を行う期間	承認後 ～ 2023 年 12 月 31 日
研究対象者の範囲	2013 年 11 月 1 日～2020 年 3 月 31 日に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、食道腫瘍に対して ESD を施行し、ステロイドの局所注射とポリグリコール酸シートの併用による狭窄予防治療をした患者さんが対象です。
お願いする内容	大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。
	診療情報を用いて研究をいたします。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 教授 藤原 靖弘
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報には公表しません。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 永見 康明 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-2316